

首都圏大曲会会報 第36号

ふるさと大曲

題字 澁谷一男

令和6年8月発行 発行所：〒162-0054 東京都新宿区河田町6-6 教育情報プロジェクト気付 首都圏大曲会事務局
電話 03(3341)6339 FAX 03(6273)0081 eメール：info@e-prosjp.com <http://www.supportlife.com>



東京・北区の 飛鳥山公園にある渋沢資料館の正面入口



東京都葛飾区、江戸時代からの名所。色鮮やかな堀切菖蒲園



大曲の花火・春の章 新作花火の部優勝
「巫女神楽一神懸り、舞い踊る」



東京・新宿区、フジテレビ跡の高台から見た東京の夕焼け。雨上がりの夕焼けは幻想的だ

花火のまち

大曲(大仙市)に夏が来た！

首都圏大曲会会報 第36号



令和6年度「大曲の花火・春の章」「世界の花火・日本の花火」アメリカ・ロッツィ社演出の花火がファイナルを飾った

「新米のアキタコマチ」をお召し上がりください。

秋田県特別栽培農産物認証

アキタコマチの田植えをする生産者・佐藤久男さん



内城菌普及促進協会

食の安全・安心
うちしろさん
内城菌で
エコ栽培

食の安全・安心



向かって右は、つくば市在住の佐々真理子様
左は、東京・足立区在住の津崎きょう子様



東京都足立区お住まいの赤倉様ファミリー

◇生産者の佐藤久男さんからアキタコマチを直接購入のご家族紹介

こだわりの「アキタコマチ」

注文専用FAX 0187-62-5614

*新米の発送は10月中旬になります。ご注文はどうぞFAXでお申込みください。

お申込みの個所を○でお囲みください。

特別栽培こだわり米	5 kg袋	10 kg袋	20 kg袋
減農薬 化学肥料40%使用	2,900円	4,600円	9,000円
		*いずれも1袋、送料込みです。	
ご注文合計数	個	個	個
送金合計額	円	円	円

ご住所⇒ 〒

お名前⇒

電話⇒

◆販売量に限りがございます。売切れの節はご容赦願います。

○お問合せなどはご遠慮なく、お電話かFaxでお寄せください。

〒010-0103 秋田県大仙市高関上郷字高屋敷42 生産・販売者 佐藤 久男
電話0187-66-1702 Fax0187-62-5614

首都圏大曲会

会費のお振込みにご協力
有難うございます。

首都圏大曲会会員の皆様方には、いつも会費のお振込みにご協力頂き有難うございます。皆様方からの会費は、会報「ふるさと大曲」の発行を初め諸活動や首都圏大曲会維持のため有用に使用されております。ゆうちょ銀行に口座(通帳)をお持ちの方は、お持ちの口座から首都圏大曲会の口座に振り込むと手数料は低額です。現金で振り込むとかなり高額になります。現在、振込み番号を申請中ですが認可が厳しく難航しています。なお、市中銀行等に口座をお持ちの方は、りそな銀行の首都圏大曲会口座をご利用下さい。

年会費 一族(令和六年度) 千円
納入法 ゆうちょ銀行(郵便局)
に口座をお持ちの方は、ご自分の
口座から、直接、首都圏大曲会
の口座にお振込み下さい。

記号 113330
口座番号 20455001
受取人名 首都圏大曲会

◆都市銀行等他の金融機関から
店名 りそな銀行九段支店
店番 274
口座番号 1329364
預金種目 普通預金
口座人名 首都圏大曲会

首都圏大曲会会報 『ふるさと大曲』 第36号 目次

特集 幹事誌上座談会

思い出すあの時、あの頃…………… 4

腕白時代・遠足・修学旅行・文化祭そして懐かしい味

大友昭三・佐藤重光・田口元也・築地良仁・大友律子
野口英一郎・佐藤 健・大釜茂璋

◆大仙市市役所訪問

企画部若者チャレンジ推進室…………… 10

「大曲の花火・春の章」…………… 14

新作花火コレクションと「世界の花火・日本の花火」

特別寄稿 「ふるさとの思い出とともに」…………… 16

卒寿のふるさと訪問記 寺島 資郎 心に残る恩師の思い出 小西 國男

令和六年度大仙市首都圏ふるさと会懇話会開催…………… 20

ぶら〜り 東京の公園を歩く!(東京都北区飛鳥山公園) …… 旅人・小川 康 22

会長アピール「郷愁の秋田弁」24 まちの話題 26 カナダ・モントリオール
国際花火大会 25

大釜 茂璋 (「だいせん日和」から)

なかまの作品 19 編集後記 26

(写真・編集資料協力 大仙市・今成敬子・飯島陽子・小川 康・佐藤久男・順不同、敬称略)

地域の
元気の
お役立ち♪



株式会社 タカヤナギ

Tel. 0187-62-1234 (代)
http://www.e-takayanagi.com

幹事たちの誌上座談会

思い出すあの頃、あの時

子どもの頃のあの味・あの香り

「思い出の少ない人生は悲しい」と言われる。

思い出は多ければ多いほど良い。

運動会、学芸会、遠足、お祭りや初恋など、心に残る数々の思い出

ふるさとを離れて暮らす人にとつて若い日の思い出は、今も心の中に写し絵となつて鮮やかに残る。それは二度と手にすることのできない宝物だ。通っていた学校の行事、各家々独特の行事、鎮守様のお祭り。好きだった食

べ物の味や香り。若い日の思い出を語り合う機会を築くこと、場の設定することも、ふるさと会の大事な役目ではある。先に掲載して好評だった、ふるさとでの思い出を語る首都圏大曲会幹事有志の座談会を掲載した。

大釜 (司会) ふるさと会の楽しいところは、同じ地域で生まれ育った人が、懐かしいふるさとを話題に、接し合える機会があるということに尽きるようです。電話もつい長電話になる相手はきまって同郷の友人です。小学校時代、中学校時代、盆や暮れの騒々しい雰囲気の出、運動会や学芸会などの学校行事は鎮守様のお祭り同様、大人も一緒になった、その地域みんなのお祭りでした。今日は首都圏大曲会幹事のみなさんと、ふるさとの若い日に過ごした思い出の一端を語り合いたいと思います。

魚と遊んで遊ばれて

早や七十年

佐藤 (重光) 私の家は代々神主です。だから肉は食べない家で魚中心の食卓でした。筋子などの魚卵がいつの間にか瓶の中で



固くなっていましたが、それがおかずの主役でした。庭には池があり、鯉、鮒、ナマズやドジョウなどがいて、イカ、タラ、ホッケやニシンなどは近所の魚屋さんから買っていました。正月には、キンキが丸ごと一匹の姿焼きがお膳に上りました。

司会 正月はどこの家でも餅をつき、大変なご馳走でしたね。
佐藤 雪の降る前には池の魚を生簀(いけす)に移し、来客の時には生簀の魚を料理してました。隣の家の鶏が鳴いて暴れる音がすると、来客があるのかなと思う長閑な時代でした。(笑)
子どもの頃は十一月ともなれば、小川を上ってくる鮭を見る

投げ出して鮭を捕るのに夢中になって三時間ぐらい遅刻して学校に行つたこともありました。魚河岸を職場とする私は、子どもの頃から魚は、私の遊び仲間であり、友だちでした。(笑)

楽しかった「寒天」をつくって貰った日

大友 (律子) 先日、秋田魁新報で、秋田県南地方の昔からの食(主に寒天)をとりあげた記事がありました。ご覧になった方もいらつしやると思うが、とても懐かしく読み入りました。

忘れかけていた「寒天」の思い出は、田舎の母はほとんど欠かしたことのないくらい作って食べさせてくれました。記事にもあったがハレの日には、具の中身を少し豪華にし、必ず添えられたものですが、日常的にも当たり前のように食卓に出ていたの、何ら特別に感じませんでした。記事で栄養価も無視出来ないくらい優秀な食品だということを知りました。

未成年者の方にはお酒をお販売しません。

本醸造生貯蔵酒

ひでよし——ひょうたん

お酒を注ぐ時に聞こえる「こぼこぼ」という音も、より一層お酒をおいしく感じさせてくれます。軽快な口当たりと爽快感をお楽しみ下さい。

300ml ¥396(税込)

名鈴木酒造店
大仙市長野字二日町9
電話0187-562211

大曲商工会議所

会頭 齋藤 靖

〒014-0027 秋田県大仙市大曲通町1-13
【本部事業部】TEL 0187-62-1262
【花火振興事業部】TEL 0187-88-8073
URL : <https://www.omagari-cci.com>



なつて
います。
ふるさ
とには他
にも健康

志向の食品が多いと改めて感じ
ています。例えば発酵食品の「い
ぶりがっこ」です。最近塩分
がかなりおさえられ、とても食
べやすいものが東京のスーパ
ーには必ずあります。また「ひき
わり納豆」も同じく発酵食品で
す。

栄養価が高い

「ひきわり納豆」

上京して「ひきわり納豆」が
売ってなかったので仕方なく、
小粒納豆を食べるようになりま
したが、最近両方とも売って
いるので嬉しい。そして最近
知ったことですが「ひきわり納
豆」は豆を砕いているので、表
面に栄養が付いて小粒よりも栄
養価が高いということでした。
『ひきわり納豆恐るべし』で、
諦めないで良かったと思ってい
ます。(笑)

他にもふるさとの漬物で特筆
は「茄子のふかし漬」で、私に
は到底作ることは出来ません。
ふるさと会の即売コーナーで見
つけると、つい買ってしまいま
す。この「ふかし漬」は茄子の

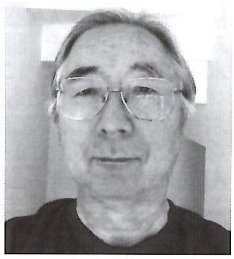
大きいものと麴で漬けたもので
冬の保存食です。難を言わせて
もらうと、少し塩気を抑えて貰
えないかということですが、

いぶりがっこにしても、茄子
のふかし漬にしても、これらを
作っている方たちは高齢者が多
く、力仕事が大変のようです。
どうかいつまでも後世に残し、
味を絶やさないうで作って欲しい
と思います。

司会 それでは、子どもの頃に
出会った忘れられない味につい
て、野口幹事の思い出を語って
いただきます。

野口 私が小学校の低学年の頃
だったと思います。大曲の町内
でも車の往来も少なく、人間も
車ののんびり通行できる時代で
した。

毎日ではありませんがお天気
のいい昼下がり、リヤカーに調
理器具を積んで、「おこのみや
き」と印した屋台、今で言う
キッチンカーがやって来ては、
町内のお決まりの場所に止まり
ました。その辺りで遊んでいた
子どもたちがその屋台を取り囲
むと、これから何が始まるのか



ワクワク
しながら
見守った
ものでし
た。
白い

上つ張りに身を包んだおじさん
が、そそくさと何か準備を始め
ると、やがて屋台の中央にある
鉄板を、先がフサフサした油引
きで、まんべんなく拭き上げま
す。ほのかに白い煙が立ち上
がって、鉄板の表面が熱くなっ
ていくのが感じられます。すか
さず誰かが「しょうがっ」「オ
レは、のりっ！」などと注文の
声が上がると、おじさんは大き
な容器からしゃもじのようなも
ので、中から白いトロトロした
液体を金属製の小さなコップに
すくい取り、鉄板の中心部から
渦を描くように、外側へ落とし
て行きます。

ひとまず空になったコップを
脇に置いて二つの金属製のヘラ
に持ち替えると、白いトロトロ
を薄く延ばすかのように両手で
巧みに動かしながら、見事な円
形の薄い生地を作っていきます。
次にその生地の上に、注文の
あった紅シヨウガのみじん切り
や、青のりの粉末をパラパラ振
りかけるのです。

更に生地を二つのヘラでパッ
とひっくり返して裏面を鉄板で
焼きながら、割り箸を取り出し
ては生地の端っこにおきます。
一方の手で割り箸を押さえな
がら、片方のヘラで生地の上端
の部分の割り箸の先端を包むよ

うに折りたたんでから生地を巻
き込むようにクルクルと回す
と、扇子を閉じたような形で
プックリした「おこのみやき」
が現れるのです。

極めつけは、生地の表面に秘
伝(?)のタレを刷毛で塗って
何回か鉄板の上で転がすと、何
とも言えない美味しく香ばしい
匂いのする「おこのみやき」の
完成です。この間、せいぜい5
分位ですが、おじさんの見事な
手さばきに、子どもたちは目を
凝らしてじーっと見入ってしま
うものでした。

注文した子は10円か20円を出
して出来た「おこのみやき」を
受け取り、その場で頬ばったり、
家に持って帰って食べたりして
いました。

司会 聞いているだけでも熱が
入ります。お腹の空いた夕方の
子どもたちの、真剣な表情が目
に浮かびます。(笑)

素朴でシンプル、絶妙な

ハーモニーを奏でる

野口 おじさんは休む間も無く
次の注文の準備に取り掛かり、
ときには二枚の生地を同時に焼
き上げる超人技を見せることも
ありました。(笑)

後になって考えるとその生地
は小麦粉の類でしょうが、門外
漢の私には、当時はさっぱり見

当がつきませんでした。お好み
のトッピングも、他に小豆や昆
布、そばろなど数種類が、小さ
な瓶に入って棚にきちんと並べ
られていました。

そのおこのみやきは、本当に
素朴でシンプルなものでした
が、出来立てのホカホカ感と、
何とも言えないモチモチした食
感がたまらなく、加えて秘伝の
タレの甘じよっぱさが、トッピ
ングと絶妙なハーモニーを醸し
出し、割り箸にくつついた生地
までなめるようにして食べた思
い出が忘れられません。

司会 腕白盛りの少年時代、幼

座談会出席者

(五十音順)

- 大 釜 茂 璋
- 大 友 昭 三
- 大 友 律 子
- 佐 藤 重 光
- 佐 藤 健
- 田 口 元 也
- 築 地 良 仁
- 野 口 英 一 郎

馴染みとの思い出が、お好み焼の味と共に忘れられないということですね。

野口 当時は、戦後の高度経済成長時代の真っ最中。今はあの遊び場もなくなり、それとともにあの屋台もいつの間にか見る事が無くなってしまう。屋台のおじさんの僅か数年間、しかもこつ然と、極めてローカルな子どもたちへの贈り物だったように想えてなりません。

長じて広島のお好み焼や、東京は下町のもんじゃ焼きに接する機会がありました。私にとつてのお好み焼は、少年の日に味わった、あの「大曲風おこのみやき」の味がホンモノで、忘れることが出来ません。

じつは東京に出てから何回か「大曲風おこのみやき」を作ることに挑戦して見ましたが、形は似たようなものになっても、味に至つてはおじさんにはとても適いません。

生地が材料が違うのか、鉄板の温度か、はたまた秘伝のタレなのか。もう一度、小さな広場で味わったあの味を、味わって見たいと夢に見ます。

どなたか「大曲風おこのみやき」のレシピをご存知の方は、いらつしやらないでしょうか。司会 話しを聞くだけで食べてみたくなります。野口少年の観

察眼にも感心します。ところで人それぞれの思い出も、ほろ苦かったり甘かったり。築地さんはどうですか。

築地 「お手々つないで幼稚園積み木、ぶらんこ、紙芝居、胸に下がったハンカチの キミの下前が 読めたつけ 小学校の運動会 キミは一等 僕はビリ泣きたい気持ちでゴールイン そのまま家まで駆けたつけ」

大曲小学校では一緒のクラスになれないまま、2年生の3月、彼女は秋田市の小学校に転校しました。デューク・エイセスが唄ってヒットしたこの歌。保育園以来六十数年、あの人(ト



ミナガ ミキちゃん(ん)は、今どうしているのかな。

思い出の学芸会と

仮装行列

最近、時間があると古いアルバムを見て楽しんでいたりあります。それは、保育園と小学校の学芸会、高校の文化祭での人気行事だった仮装行列の写真です。

①の写真は、保育園で「赤ずきんちゃん」の劇をやり、その時の、出演者一同の記念写真で

す。みんな可愛く一生懸命、熱演でした。私は狼の役でした。本当は赤ずきんちゃんとお婆さんを助け出す猟師の役をやりたかったのですが。意地悪なおオカミは大嫌いでした。

②の写真ですが、今度は、「舌切りすずめ」の優しいお爺さん役です。

雀のお宿に招かれて、つづらに入ったお土産をもらって、雀たちに見送られて家路に



① 保育園のおひなまつりで「赤ずきんちゃん」の劇。出演した園児たち一同の記念写真。みんな懐かしい思い出



② 「舌切りすずめ」。すずめたちに見送られ、おみやげのつづらを背にしてお家に帰る場面。

つく場面です。③は小学校3年生の時の学芸会で、村のお巡りさんの役でした。写真は、いたずらっ子を叱っている場です。大曲高校の文化祭テーマに合わせた仮装で、メインストーリーを進行 進学した大曲高校の文化祭の行事では、各グループがテーマに添った仮装をして、学校から駅前まで、メインストーリーの行進が

伝統の銘酒 かり穂

大地の恵みとともに 秋田の心を醸す

雪蔵銘醸 出羽鶴

秋田県大仙市戸地合字天ヶ沢八三の1
- 益福は工場になったから、お酒はおいしく造る。 -
- 延中や前期の銘柄はお控えください。

TEL 0187(63)1224
FAX 0187(66)2277

http://www.igeta.jp/
e-mail info@igeta.jp

乳頭温泉郷 黒湯温泉

〒014-1201 秋田県仙北市田沢湖生内字黒湯沢2-1
TEL 0187-46-2214 FAX 0187-46-2280
HP http://www.kuroyu.com



大曲高校の文化祭。左から3年次築地さんが変身したハワイアンの日野てる子。圧倒的な人気だった



村のお巡りさんが、いたずらっ子を説教している場面(小学校3年生)



大曲高校の仮装行列で、アメリカンインディアン一家に扮する

呼び物でした。沿道で見物する市民から、やんやの拍手喝さいを浴びる派手な行事でした。

一年生の時のテーマは「正義の味方」。私は当時、世間を騒がせていた「松川事件」の裁判官に扮しました。

二年時のテーマは「アメリカ開拓史」。私たちはアメリカンインディアンの親子に扮しました。

人気を呼んだ日野てる子さんの扮装。そして三年生の時のテーマは、なんと「歌謡ヒットパレード」。私は、当時の人気歌手、ハワイアンの日野てる子さんに挑戦しました。三年間の仮装で、これが一番受けました。(笑)

月岡劇場のスピーカーから親父さん感動の応援

仮装行列が駅の近くに差し掛かると、月岡劇場のお客様呼び込みのスピーカーから、「間もなく大曲高校の仮装行列が通ります」と親父の声が聞こえてきて、感動したものでした。

大曲駅前月岡劇場。映画館に呼び込むスピーカーの音は当時、街場の華やかさを醸し出して私たち近在の子には憧れでした。あのスピーカーから我が子を応援するお父さんも張り切ったことでしょうね。ほのぼのとして、ジーンと胸に迫るものがあります。

ところで佐藤健さんも、子どもの頃はそうとう腕白だったと自ら話しています。昨春秋、急逝した鈴木副会長も愉快な腕白話をしてくれましたが、鈴木副会長を偲びながら佐藤さんの腕白話をどうぞ。

火の見櫓から、紙芝居の只見を許してくれた小父さん

佐藤(健)子どもの頃、家の近く(花館村旭町)に、高い火の見櫓が立っていました。

昇降が危険なため消防関係者以外は立ち入り禁止となっていました。しかし私たちワル餓鬼どもは、見ている大人がいな

ときは、見つからないように気を配りながら昇り降りして、良い遊び場になっていました。櫓の周りは私たちが遊び場にしていた狭い空き地があり、紙芝居屋さんが定期的にやってきました。

紙芝居の小父さんは、紙芝居での語り方が大変上手で、子どもたちはいつも小父さんのペー

スに巻き込まれて芝居の雰囲気は小父さんが自転車で、拍子木を打ちながら町内を廻ってくる。小銭をしっかりと握りしめて紙芝居を見に行き、料金を払って小父さんから飴玉やお菓子などを貰い、それらを食べながら紙芝居を楽しんでいました。あの時、すぐ傍に立っている火の見櫓に上り、上からなら只見ができるんじゃないかと相談がまとまりました。

冒険好きの活発な子どもが思いつきそうなことです。その子の自慢気な、得意そうな顔が目につかびます。(笑)

それからは拍子木の音が聞こえると急いで櫓に上り、隠れて紙芝居を覗き見しては喜んでいました。



何度か

は見つからずに済んでいました。子ども同士の事、誰かが告げ口をしたと見えて、あえなく見つかってしまいました。しかし小父さんは叱ることも無く、「上からでは遠くて見づらいうろうし、危ないから下に降りて、途中の横木に腰掛けて見てもいい」と優しく諭してくれました。他の子どもたちには、危ないから絶対に真似しないようにと、強く言い含めました。それ以後は、紙芝居の場所を移し、櫓を背にしてやるようになりました。ワル餓鬼時代のいたずらと反省の思い出です。

子どものちよつとした思い付き。誰もがすることですね。しかし紙芝居屋さんのその時の対応は、優れた教育者ですね。涙が出ます。ところで昭三さんにも、活発な子供の頃の思い出は、沢山ありそうですね。

大友(昭三)私の出身は大曲町と合併する前は内小友村。当時、岩波写真文庫の「村の一年―秋田―1956」では、大曲駅まで村の中心から二里(8キロ)。村の東の外れを雄物川が流れ、村の中央を通る県道の東側は、はるか奥羽山脈まで続く雄物川沖積平野の一部、西側はなだらかな丘陵性の土地。人口四千五百人で、専業農家は六百戸、他は百戸余り。私の家はこ

の六百戸のうちの一軒、純粹の
專業農家でした。一年に獲れる
米は平年作で一萬五千石とあ
りますから、米作県秋田でも有
数の米の産地です。

村を縦断する二本の県道を、
大曲駅から通うバスが、片方は
一日四往復、もう一方は三往復
で、交通手段の主力は自転車と
あります。バスを利用すると大
曲駅まで二十分、県庁のある秋
田市まで二時間半、東京へは急
行に乗れば十二時間で行かれる
と紹介されていますが、新幹線
が走り、自家用車が普及してい
る現在では、当時は考えもつか
ないほど便利になりました。

地元の写真家

井上一郎さんのこと

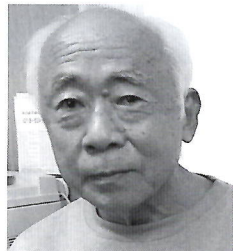
ここで参考にしたの岩波写真
文庫「村の一年―秋田―195
6」は、内小友出身の写真家と
して知られ、当時はリング農園
経営者の井上一郎さん撮影の写
真で構成されています。そして
昭和五十二年、東京の家の光協
会から「井上一郎写真集 米づ
くりの村」を刊行しています。
私の愛蔵版でもある、井上さん
の手がけたこれ等の写真集を見
ていたとき、たまたま中学校の
同級会開催の案内や、首都圏大
曲会会報での座談会の知らせが
届いたりして、一層わがふるさ

との内小友が、愛しく感じられ
ました。

司会 ふるさとを思い、ふるさ
とを懐かしみ、愛しく感じる心
を失わないこと、それが首都圏
大曲会の信条である「ふるさと
貢献」の行動に繋がるのです。
ふるさとの思い出を大事に温
め、仲間と共に語り合うことを
忘れないで欲しいと思います。

大友(昭) 村の鎮守様でもあ
り、安産の神様、学問の神様と
して崇敬される宮林神明社のお
祭りには、叔父さんや叔母さん、
従兄たちが集まり、賑やかで楽
しかった思い出が一杯です。神
明社のお祭りともしなれば、朝か
ら威勢よく花火が上がります、境内
には舞台が立ち、参道にはいろ
いろな出店が並んで、子どもた
ちはもちろん大人たちまでも、
そわそわとした気持ちになり、
活気づくものでした。

実家の周囲には路が多く生え
ていて、夏の初めになるとそれ
を収穫し、取った路を、西山近
くに住んでいる親戚のお宅に配
りました。持つて行くところの家
も大変喜んでくれて、路のお返



しにとタ
ケノコを
一杯頂い
て帰った
ものでし
た。私に

とつて六月の味は、タケノコの
甘い味噌汁や煮物の歯触りが懐
かしく、もうすぐ夏休だといっ
た感が今も残っています。

大曲の花火も終わりで、何とな
く気持ちの上で空虚さが漂う頃
になると、季節は秋を感じるよ
うになります。稲の刈入れが近
くなり、黄金に穂った田んぼの
広がりを見渡すと、大人たちは
言うに及ばず子どもまでも幸せ
な気分になれるものでした。

集落のみんなが活気に満ち溢
れ、その雰囲気を受けて子ども
たちも収穫の喜びとともに幸せ
を感じ、さあ一生懸命お手伝い
をしようという気分になるから
不思議です。農家に育った子の、
わざわざ教え込まれなくても
しつかり身に付いた習性と言う

もので、内小友に生まれ育った
楽しい一面だったと思います。

逆に辛かったことが何かを考
えて見ましたが、今となっては
あんまり思いつきません。私の
ふるさと内小友での思い出は、
楽しさに満ち溢れます。しかし
小学生の時の吹雪は辛かったな
あ。家と学校までは1キロ程度
でしたが、あの頃の吹雪のすさ
まじさは、よく頑張って通学し
たものだなあと今でも思うこと
があります。特に酷い吹雪には、
一緒に通っていた長兄が、深い
雪をかき分けながら身をもって
守ってくれました。

辛かったこと

私の怪我に慌てた父

それからもう一つ思い出しま



井上一郎さんの写真集から。大正10年に採用されたメートル法が普及しないので、昭和も30年代にても大曲地域は、広く尺貫法が使われていました(大曲市役所文書)

した。その時は父の手伝いをし
ていましたが、私の不注意で手
に怪我をしたことがありまし
た。爪がはがれて血がちよっと
だけ出ただけでしたが、父がオ
ロオロして慌てふためき、あんなに慌てた父を見たことは初め
ででした。そのとき私の気持ち
は父に対して申し訳なきが一杯
で、今でもあの時の様子を思い
出すと、私自身が心から辛い気
持ちになります。
とにかく父母の思い出、兄弟
の思い出、楽しかったこと、悲
しかったこと、辛かったことな
どない交せて、全てが子どもの
頃の懐かしさに尽きるのです。

外国人技能実習生受入団体

だいすき協同組合

代表理事 赤木 達司

TATSUSHI AKAGI

携帯/090-1353-7455 E-mail/dc284752@kg8.so-net.ne.jp

□東京本部
〒154-0024
東京都世田谷区三軒茶屋1丁目39-7 ライオンズステーションプラザ三軒茶屋604
TEL 03-6320-0117 FAX 03-6320-8339

村の一年 — 秋田 — 1956



岩波写真文庫〈復刻ワイド版〉55

井上一郎さんの写真が採用された岩波写真文庫「村の一年—秋田—1956」。



中尊寺で詠み、立石寺の「閑けさや岩にしみ入る蟬」

心に楽しく残る 遠足や修学旅行

田口 ふるさとの大曲を離れて60年近く、既に東京生活の方が長くなりました。人生の4分の

司会 どちらかと言えば普段は気難しい顔をしているお父さん。それだけに、我が子が災難にあった時は人一倍気を病んで心配してくれることは私も何度となく経験しています。昭三さんは自分の不注意からの怪我と言っていますが、お父さんからすればそんなことはどうでもいい。お父さんの強い愛情を感じます。

1しか暮らしていませんが、なぜかふるさとの大曲を愛する純粹の秋田県人なのです。それでも子どもの頃は、大曲から離れた知らない町に行つて見たいという「憧れ」が強かつたように思います。だから、小学校や中学校の遠足や修学旅行は、楽しみの一つでした。

さんの冷たい湧水が、坂道で火照つた身体においしかったこと。小学校の修学旅行はまだ日帰りで、確か象潟の蚶満寺（かんまんじ）だったと思います。有名な芭蕉の句「象潟や雨に西施が合歡の花」は、今もしっかり覚えています。それと九十九もあるという大

西根の山の天神さん 小学校の遠足は、まず「西根山の天神さん」が始まりで、それからは「お薬師さん」「松山公園」あたりだったと思います。なにしろ1クラス50人の8クラスですから、蟻の集団のような行列だったと思います。山の上から流れてくる小川で沢ガニを捕まえ、ハサミで挟まれて痛い思いをしたり。お薬師

小の島々が、田んぼの中に点在していて、ちよつと見慣れない光景を記憶しています。大曲駅から秋田駅を経由して象潟までの汽車の旅でしたが、まだ石炭で走る蒸気機関車でしたので、トンネルに入ると煤煙が車内に充満するので、「窓を閉めろ」の掛け声。いっせいに窓を閉めるのですが、むせる煙と臭いは、今では滅多に経験することの出来ない光景です。

芭蕉の足跡と同じコース

中学校では、1年次が岩手県平泉の中尊寺、2年次では山形県の立石寺でした。いずれも芭蕉の「奥の細道」の訪問地です。「五月雨の降り残してや光堂」、「夏草や兵どもの夢のあと」は

の声」も、誰もが知ってる芭蕉の句です。この修学旅行は、高校で学んだ古文「奥の細道」で役立ちました。後年、再び訪ねて分かったことですが、金色堂は現在のよう

な鉄筋の立派な覆いではなく、私たちが修学旅行で行つた当時は、「鞘堂（さやどう）」と言う古い建物に納まっていました。「鞘堂」は、正しくは「金色堂旧覆堂」といって、室町時代中期に、金色堂を風雨から守るためにつくられ、昭和38年の解体修理時に移築されています。鞘堂も重要文化財となっています。平泉に行くことがあつたら、ぜひお立ち寄りください。

中学3年次は、「東京・日光」

中学3年次の修学旅行は、本命の「東京・日光」方面です。夜行列車で宇都宮経由、日光

には早朝到着。東照宮・中禅寺湖・華嚴の滝を見学。初めて見る一〇〇メートル近い落差がある雄大な滝には、文字通り一気に眠気も覚める思いでした。今は東京では、上野恩賜公園

の野外音楽堂で、首都圏で暮らす大仙市出身の先輩たちと校歌や秋田県民歌を歌って思い出を更に強くしていますが、私たちのコースは次の通りでした。上野動物園をスタートとし

て、羽田空港、浅草国際劇場、東芝科学館、横浜港の氷川丸、そして皇居の二重橋を背景に集合写真を撮りました。コースはアルバムを見たりして記憶にあります。見学内容はほとんど覚えていません。

観光バスの中から見る東京の空がどんより曇っていたこと、車の渋滞でノロノロ運転のためバスの中での時間がとても長く感じたことなど、将来の東京暮らしにやや不安が過ぎつた思いがありました。

バスのガイドさんに

ちよつとしたトキメキ 渋滞のノロノロ運転中も明るいバスのガイドさんとの会話が楽しかった事が、帰校してからのクラスの中でも話題になりました。暫くはガイドさんと文通を交わしていました。バスの中でガイドさんに教わつた「夕焼け小焼け」の替え歌が愉快です。

ゆつくり夕焼け こつくり小焼け ひつくり日が暮れて・・・と。「夕焼け」の最初の語の後に「くり」を挟んで「ゆつくり夕焼け」という不思議な歌は、今でも思い出し、たまに口ずさむことがあります。

大仙市

市役所訪問

第2期大仙市 まち・ひと・しごとの 創生総合戦略

若者のチャレンジをサポート

若者チャレンジ推進室

飛翔する！
大仙市

若者が果敢にチャレンジできる大仙市を目指して！

今年四月に公表された「人口戦略会議」の報告によると、「消滅可能性自治体」は大仙市など744の自治体を数えます。しかし大仙市は、早くから人口減回避の戦略を立て、積極的な政策を打ち出しています。そこで今号では、若者のチャレンジを支援する「大仙市企画部若者チャレンジ推進室」を訪ね、新田雅昭室長にその取組をお話し頂きました。

はじめに (背景)

二〇一四(平成26)年五月、日本創生会議が「消滅可能性都市リスト」を公表してから10年が経過しました。

今年の四月末、経済界の有志でつくる民間組織「人口戦略会議」は、国立社会保障・人口問題研究所が昨年末に公表した地域別将来推計人口をもとに、改めて将来的に消滅の可能性の高い744自治体を公表しました。大仙市は多くの自治体と同様に、このリストに含まれており毎年一千人以上のペースで人口が減少しています。出生数の減

若者チャレンジ

推進室の設置

こうした中、新型コロナウイルス感染症の拡大で、特に若者による地方への関心が高まりを見せました。そこで喫緊の課題である「若者の流出」を食い止めるため、第2期総合戦略の重点施策である「若者がチャレンジできる環境づくり」を具現化する部署として、二〇二二(令和4)年度にフォーシーズン一階のレンタルオフィスギャザー内に、「若者チャレンジ推進室」を設置しました。同室では、若者の市内定着と

左から地域おこし協力隊 近藤 央(ごんどう あきひ)、新田雅昭室長、佐藤 幸樹(さとう こうき)室長待遇、田口雄平(たぐち ゆうへい)主任のみなさん



企画部若者チャレンジ推進室 新田 雅昭(にった まさあき)室長

若者チャレンジ応援プロジェクト

若者が活躍できる・若者のチャレンジを
応援するための
「土壌づくり」の取り組み

- だいせんLaboの運営
- 若者チャレンジ応援補助金の実施
- 学生が活躍する場づくり(R5)

若者が活躍するための
「人材づくり」の取り組み

- 若手農業者のためのコミュニティの形成
- 女性活躍のためのコミュニティの形成(R5)
- 起業・創業に向けた支援(R5)
- 将来を担う人材の育成

次のチャレンジを生む
「チャレンジの好循環」
の取り組み

- 各種媒体を活用した情報発信
- 市民向けセミナーの開催
- 「若者チャレンジ」の事例紹介・発信(R5)

若者のチャレンジをサポート!

Daisen Labo

だいせんLabo

企業や大学、金融機関など様々な皆さんと連携を図りながら

若者による地域の元氣創出につながるために、行動を起こそうとする若者を応援する「若者チャレンジ応援プロジェクト」を展開しています。

若者チャレンジ 応援プロジェクト

このプロジェクトは、地域全体で若者のチャレンジを応援する「土壌づくり」と「人づくり」

を進めるとともに、若者のチャレンジが次のチャレンジを生む「チャレンジの好循環」につなげるよう、様々な取組を行っています。

具体的な取組み

一、だいせんLaboの運営

だいせんLaboは、「若者チャレンジ応援プロジェクト」の柱となる取組で、

令和五年度は、30歳代の相談者を中心に、述べ221件の相談を受け付けており、そのうち約半数が経営や事業拡大に関する相談となっています。今後多くの方々の皆さんのチャレンジを実現できるよう、周知強化に取り組みます。

二、若者チャレンジ応援補助金の実施

この補助金の制度は、まさにチャレンジする若者を金銭的に直接的に支援するもので、主に40歳以下の個人に加え、中学生や高校生などの生徒・学生を対象に、取組みに必要とする経費等を支援しており、これまで6件の事業を採択しています。このうち昨年度採択した2件の事業をご紹介します。

①大仙市を漫画・イラスト文化の発信拠点に!「だいせんサブカルマーケットプロジェクト」

事業提案者は30代女性。大仙市に漫画やイラストの文化が根付くきっかけをつくりたいとの思いから、同人誌即売会「だいせんサブカルマーケット」を、十年間開催する取組です。この

イベントは、はなび・アムを会場に昨年度二回、今年度も一回開催し、多くの皆さんに会場頂いております。

②SDGsを推進!協和中生による譲渡会プロジェクト

事業提案者は、大仙市立協和中学校の生徒有志。1月21日に、協和市民センター「和ピア」で開催されたイベントにおいて、各家庭から集めた不用品を提供する譲渡会を開催しました。当日は多くの方々にご来場頂き、地元盛り上げ隊として活動しています。

三、その他の取組み

これ等の他に、企業経営者と起業家との交流会の開催や、若者のチャレンジを応援するセミナーの開催、秋田大学と市内の高校と連携したワークショップの開催に加え、大学生や女性の活動にフォーカスしたサポートの取組みなど、それぞれのターゲットに合わせ、様々な取組を展開しています。

今後の展望

当室は、設置してから平成6年度で3年目を迎えます。利用された皆さんから、相談しやすい場所、環境だとの評価を頂き、少しずつ利用者も増えていきます。意欲ある多くの若者に認知されつつあります。

夏瀬温泉

都 わすれ

〒014-1113 秋田県仙北市田沢湖卒田字夏瀬84

電話 0187-44-2220

乳頭温泉郷 金の湯 銀の湯

妙乃湯温泉

〒014-1201 秋田県仙北市田沢湖生保内字駒ヶ岳2-1

電話 0187-46-2740

分類別・年代別の相談者数

◆実相談者数（分類別）

項目	R5年	R4年	述べ件数	女性の件数
夢の実現	6件	3件	28件	5件
起業の実現	9件	12件	34件	5件
経営・事業拡大	23件	13件	95件	5件
地域活性化・課題解決	6件	11件	31件	3件
新たな取組	4件	0件	21件	0件
その他	2件	8件	12件	0件
合計	50件	47件	221件	18件

◆年代別実相談者数

	R5年	R4年	女性の件数
20歳代	7名	6名	4名
30歳代	16名	24名	8名
40歳代	6名	8名	3名
50歳代	4名	3名	2名
60歳代	2名	—	1名
法人等	15	6	0
合計	50名	47名	18名

一方で、応援する側の多くの市民の皆さんへの浸透については、今一つ物足りなく感じています。これが今後の課題の一つになっています。

若い世代の活躍出来る環境を

大仙市が誕生してから今年度は二十年という節目の年を迎え

ます。この機に様々な取組を展開しながら、大仙市の将来を担う若い世代が活躍できる環境づくりを更に推進し、若者の活躍をエネルギーとして、市の更なる飛躍と発展に繋げたいと考えています。

大仙市では、市のホームページやインスタグラム等を通じて、チャレンジする若者へ向け

て数々の情報を発信しています。首都圏大曲会のみな様には、ふるさとの大仙市で挑戦する若者を認識し、お互いのふるさとで暮らす私たちとともに、チャレンジする若者たちを応援して頂きたいと思えます。

皆さんのご理解とご支援をよろしくお願い致します。



協和中学校生徒有志の提案による譲渡会。各家庭から集められた様々な品が、譲渡された新しい持ち主のもとで活用される。(協和市民センター和ピアで)

同人誌即売会「だいでんサブカルマーケット」は、昨年度2回、本年度1回開催された。

補助金の活用事例

活用事例 01 若手農業者が挑戦する「トータルアグリカルチャー」プロジェクト

草野 真也 さん

若手農業者のつながりを作るとともに、農業者の悩み・課題の解決や地域農業の振興に向けて、「一般社団法人トータルアグリカルチャー」を設立しました。



活用事例 03 修英“夢”チャレンジプロジェクト

修英“夢”チャレンジプロジェクトの皆さん

秋田修英高校3年生の生徒有志が、北京オリンピック日本代表の向川桜子さんを講師に迎え、「夢を現実にするチカラ信じて」をテーマに、大曲市民会館を会場に講演会を開催しました。



活用事例 02 大仙市の発酵文化をいかしたKOJI CLEARの国内外展開事業

株式会社エス 代表取締役 秋元 栄平 さん

大仙市産の米・水・こうじを使用し、甘酒を進化させたノンアルコールの発酵飲料「KOJI CLEAR」を国内外の展示会で積極的に展開しながら、生産地である大仙市の認知向上を図りました。



活用事例 04 店舗出店×販売促進プロジェクト

大曲高校商業科販売促進プロジェクト 実行委員会の皆さん

大曲高校商業科3年生の生徒有志が、大仙市内を会場に行われた第145回秋田県種苗交換会の「だいせん農食マルシェ」において、2日間にわたって、地元企業と共同開発した大仙市産の食材を使用した弁当などの販売促進活動に取り組みました。



活用事例 05 大仙市を漫画・イラスト文化の発信拠点に！「だいせんサブカルマーケット」プロジェクト

千葉 愛美(aimi) さん

大仙市に漫画やイラストの文化が根付くきっかけを作るとともに、市外から多くの方に大仙市へ来ていただいて地域を盛り上げるため、同人誌即売会「だいせんサブカルマーケット」の継続開催に向け、取り組んでいます。



活用事例 06 SDGsを推進！協和中生による譲渡会プロジェクト

協和中ふるさと盛り上げ隊の皆さん

協和中学校の生徒有志が、協和市民センターとピアで開催された「協和は通過点じゃない。番外編」において、SDGsに向けた取組として、各家庭から集めた不要品や贈答品を欲しい人に提供する譲渡会を行いました。



DAISEN_LABO

だいせんLaboのインスタグラム



市のホームページ

連絡先

だいせんLabo
(運営:若者チャレンジ推進室)
〒014-0017
秋田県大仙市佐野町 2-4
フォーシーズン1階
レンタルオフィスGATHER内

◆主な相談内容

(実現したケース)

- 女性向けのサロンを開設したい
↓元看護師。創業支援事業を活用し9月に開業
- 相続に関連する事業を展開したい
↓法人。ギャザーで事業開始

○大仙市で食堂を開きたい
↓市外の個人。食堂を開業

○いぶりがっこを使った商品を開発したい
↓個人農業者。試作品への感想やアドバイスを

【解説】

秋田大学地域連携ゼミの取組み

当室で受け入れた学生2人は昨年度、市が開催した「若者チャレンジ応援セミナー」で、当室職員サポートのもと、イベントの企画・運営を行いました。セミナー講師の候補者選定やインタビューの実施、市内で起業した方へのインタビュー調査、当日の活動発表など。まただいせんLaboの周知徹底に向け、インスタや広報の記事作成などを行いました。

今年度もだいせんLaboの周知強化や、若者がリモート上で交流する新たな取組みにも協力頂きたいとも考えています。

地域おこし協力隊

だいせんLaboの体制強化に向け、昨年10月に任用しました。起業や経営等の相談対応やだいせんLaboの情報発信を中心に活動しています。昨年度は半年間で48件の相談対応のほか、インスタグラムの記事作成や市ホームページの更新や当室の取組へのサポートを行っていただきました。

< 2024 年度 >

「大曲の花火 春の章」豪華に！



新作花火競技大会と世界の花火2本立て

4月27日、大曲花火公園で「大曲の花火―春の章―」、「新作花火コレクション2024」『世界の花火・日本の花火』が、華やかに開催されました。この大会には全国から18名の新作花火作家が参加。またフィナーレの花火は、アメリカ・ロツツイ社演出の「Charmed Light (チャームド・ライト)」が鮮やかに打ち上げられ花を添えました。

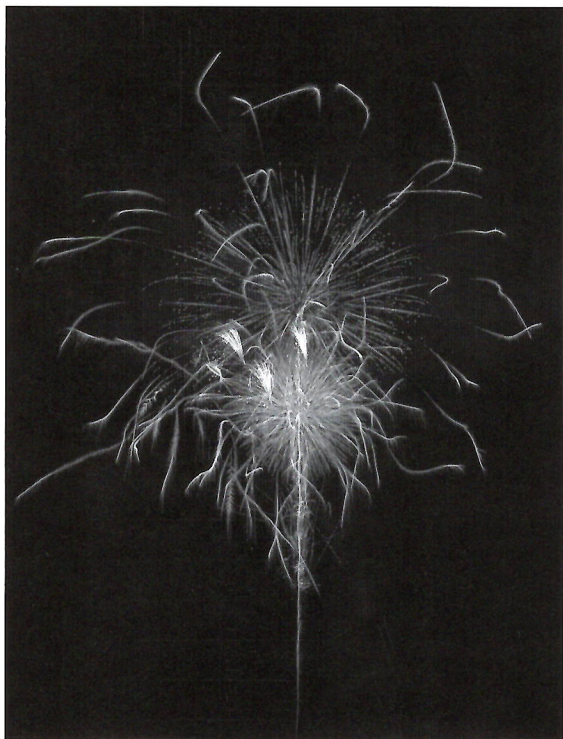
若手花火作家の登竜門

全国から選抜 十八名が競う

当日は快晴に恵まれ、適度に風もあり絶好の花火日和でした。日本一の花火のまちに相応しく、日米の花火師たちが競った「春の章」。大勢の観客が見守る中、色鮮やかな8000発の花火が、大曲の春の夜空を彩りました。

呼び物の「新作花火の部」には、全国から十八名の新進若手

花火作家が参加して競い合いました。結果は、秋田県の(株)北日本花火興行・今野貴文さんの作品「巫女神楽〜神懸り、舞い踊る〜」が優勝しました。なお芯入り割物の部で優勝、新作花火の部で優秀賞を獲得した今野祥さん(響屋大曲煙火(株))が最優秀賞に選ばれました。



新作花火の部 優勝 「巫女神楽〜神懸り、舞い踊る」
秋田県 (株)北日本花火興行 今野 貴文



芯入割物の部優勝
秋田県 響屋大曲煙火(株)
今野 祥さんの作品
「昇曲導付 五重芯変化菊」



令和6年度/大曲の花火―春の章 オープニング花火
大曲の花火協同組合

「大曲の花火・春の章」は大曲花火協同組合が中核となり、全国各地の若い花火師たちが腕を競い合う、注目の花火大会です。若手花火作家が、この大会へ参加を契機に、将来の名だたる花火師が育つであろう夢のある大会です。大曲花火協同組合のメンバーは次の5社です。

(株)小松煙火工業・響屋大曲煙火(株)・(株)北日本花火興行・(株)和火屋・(株)花火創造企業、大仙市の花火製造企業で構成されています。



インターバル花火③ 「春の息吹」
秋田県 (株)小松煙火工業

「大曲の花火・春の章」のコンセプトは『新作花火コレクション』とともに、『世界の花火・日本の花火』です。今回は『世界の花火』として、アメリカのロッツィ社が招待されました。同社の演出による花火は、令和六年度「大曲の花火・春の章」のフィナーレとして、満天に星が瞬く雄物川上空、西山を背にした大曲の夜空に、色彩も豊かに打ち上げられました。花火は国際親善の色も濃く、会場を埋め尽くした大勢の観客の歓声と拍手を浴びました。

コンセプトは 世界の花火・日本の花火



インターバル花火④ 「夢を追うすべての星たちへ」
秋田県 (株)和火屋



令和6年度/大曲の花火-春の章 フィナーレ花火
アメリカ Rozzi inc. [(株)ロッツィ社]

会員寄稿

ふるさと
の思い出
に出るともに

我が人生の忘れ得ぬ出来事



ふるさとを後にして一、二年は、ホームシックにかかっても、ふるさとを懐かしく
偲ぶ気持ちはまだまだ希薄です。それが三十年、四十年と年月を重ねると、たまら
なく懐かしい思い出となって心に残っていることに気付きます。子供時代への憧憬は、
年齢を加えてますます忘れ得ぬ出来事として、心に深く刻まれていっているのでは
しょう。寺
島資郎さん、小西國男さんにご寄稿をいただきました。

卒寿のふるさと訪問記

懐かしい景色、暖かい秋田弁

寺島 資郎

生まれと生い立ち

この世に生を受けて九十年。
戦争と戦後を潜り抜けた大変
な時代に生まれ育った世代でし
た。大曲から六郷町の山の麓ま
で歩いて、飛行場づくりの勤勞
奉仕に通った時代、忘れもしな
い心に焼き付いて離れない思い
出は、勤勞奉仕のその場所が、
アメリカのグラマン機に襲われ
た時のこと。その怖さは、文字
通り「死ぬ思い」の恐ろしさで
した。

私は大曲町立大曲小学校(当
時は国民学校)から新制の大曲
中学校を昭和二十四年に卒業し
ました。高校に進学したい気持
ちが強かったのですが、家庭の
事情で、その年八月、東京・亀
戸の商店に住込みで働きに出ま
した。それでも進学の思いは断
ち難く、夜は進学予備校に通い
ましたが、財と食に悩まされ、
残念ながら進学は諦めざるを得
ませんでした。このことは九十
歳になった今日でも残念で口惜
しく思われます。

その後知人の紹介で、勤務先
を変えました。新しく勤務する
ことになった会社は、葛飾区の
お花茶屋駅前の、優に五、六千
坪はある広大な土地を有した岡
田タイヤ株式会社と言う大きな
会社でした。面接は社長直々に
行われました。人間性に長け
た、私には苦勞人に見えた社長
は、対面した私の眼と手を良く
見ていました。直ぐに来て
くれ」と、採用が決りました。
しかし現在の勤めの仕事も残っ
ていて、結局四、五か月後の入
社となりました。新会社の業務
は、自動車、オートバイ、リヤ
カー、自転車のタイヤ、チュウ
ブなどの販売で、私の業務は菓
品の取り扱い、倉庫からの出荷

業務等でした。会社敷地内十二
か所程の作業工場を一月程で
廻り、一年位で仕事内容を身に
付けることでした。この会社で
五十三年もの長い期間勤務する
とは、考えもしませんでした。

懐かしくも温かい秋田弁

そんな九十年ですが、生まれ
育った大曲は懐かしく、掛け替
えのない大好きなふるさとで
す。大曲を思う気持ちは歳を重
ねて益々募り、二年に一度は両
親が眠る菩提寺、角間川の長応
寺に参詣を欠かしたことはあり
ません。そして私も寄る年並み
を心細く感じながら、最近も訪
れたことでした。

長応寺の住職は角間川生まれ
の角間川育ち。生粋の角間川人
です。参詣の度に菩提寺の住職
とは、秋田弁であれこれ話し合
うことが楽しみの一つでした。
しかし最近参詣した時は、最初
から最後まで標準語だったこと
は、何とも言えぬ違和感を持ち
ました。あの懐かしい、喋り慣
れた秋田弁はどこへ行った？そ
んなことを思いながら、大曲農
業高校の前でタクシーを降りま
した。生まれ育った金谷町から
金谷橋に向かって、シルバー
カーを押しながら感慨深くゆっ
くりと歩き出しました。すると
私の後ろから若い娘さん(秋田
美人、綺麗な方だった)に声を

掛けられました。

「おじちゃん、何処さ行くの
げ」そこで小さい頃、金谷町で
生まれ育ったことなど、わけを
話したら、「オレの家さん(へ)っ
て、話しこ聞かせてくれ」と。

あの綺麗な秋田美人の純粹な
秋田弁。その秋田弁が懐かしく
も嬉しく、心地良く感じたこと
でした。しかし生憎、帰りの新
幹線の時間が迫っていたので、
残念ながら丁寧にお詫びとお礼
を言い、金谷橋だけでも見て帰
りたいと、そりそり橋ま
で歩きました。

思わず目頭が熱くなる

金谷橋からは、左に白い雪の

『ふるさと大曲』第36号

令和6(2024)年8月3日

編集人：首都圏大曲会 発行人：大 釜 茂 璋

〒162-0054 東京都新宿区河田町6-6

教育情報プロジェクト気付

電話：03-3341-6339 Fax：03-6273-0081

e-mail：info@e-prosjp.com http://www.supportlife.com

印刷・製本：秋田協同印刷株式会社

衣を着た鳥海山、西山の大平山、松山、薬師山など。子どもの頃と変らぬ姿が嬉しく、幼い頃に一緒に遊んだ友だち一人ひとりの顔を思い浮かべ、思わず目頭が熱くなりました。

橋の下は清流となつて流れ下る雄物川、右に広がる河原は全国一「大曲花火大会」の会場。しっかりと九十歳の脳裏に焼き付けました。その後、橋の上から「有難うございました」と、山々や川に向かって深く頭を下げて、御礼を言いました。

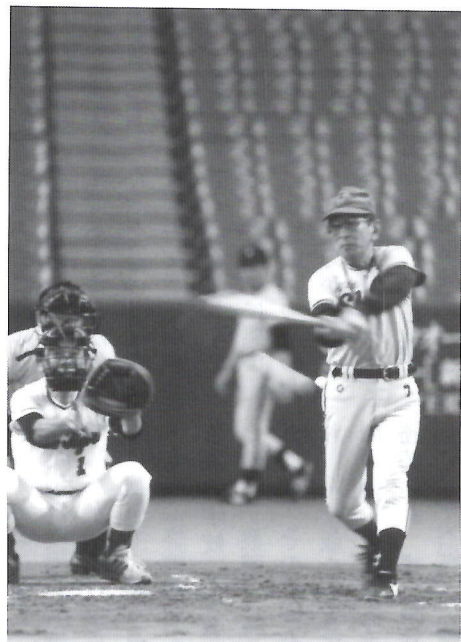
駅まで乗ったタクシーの運転手さんにその話しをすると、運転手さんも「その気持ち分かりますよ」と、目をこすりました。貰い泣きかな、悪いことをしました。



「17年会」のみなさん。「キミは若いなあ」「なかなか男前だな」など。久し振りに会って他愛のない話して盛り上がる。真ん中が寺島さん。右に井上、左に山内、熊谷の皆さん

心に残る恩師の思い出

石河栄一先生と渡辺正巳先生



「17年会 東京ドームで野球を」の集いで、バッターボックスの寺島さんの勇姿。「多分三振だったと思う」と寺島さんの感想はあっさりしているが…

石河栄一先生

花見の出来事

今から三十数年前のことでした。還暦の祝いで大曲に帰郷する二年ほど前の春、友人のK君と会うために秋田市に出かけたことがありました。その帰り、偶然にも従姉たちの集まりがあることを知って、その集いに参加して楽しい一夜を過ごし、そのまま泊まった翌日のことです。

朝、その家を辞して実家のある大曲に帰ろうとして秋田駅に向かいました。ふと、しばらく千秋公園の桜を見ていなかったこと思い出し、千秋公園に寄つて見ることにしました。

小西國男

この公園は昔、秋田工業高校生の頃はよく寄つたものだと思いに浸りながら、城跡の一番高所からしばらく市内を眺めたものでした。その後、爛漫と咲き誇る桜を見ながら二の丸跡の階段を下りて行った時です。丁度下から上がってきた一人の老人とすれ違いました。通り過ぎてからふと思った。「あれっ」もしかして石河先生ではなかったろうか。石河先生は、私が大曲小学校4、5年生当時の担任でした。石河先生とは「四十二歳の厄払いの会」以来、十四、五年も逢っていないし、しかも高齢の先生一人で大曲から出て来るとは考えられない。もしかして人違いかとも思いましたが、その老人が帰って来そうな場所を、公園の高いところから眺めて待つことにしました。

暫くして花見のため公園の一角に陣取られた所にその老人が戻って来ました。それは私の小学生当時の面影が残る、先生の奥様の所でした。「間違いない」私は確信してその一団に近づきながら、「石河先生ではないですか」と尋ねました。先生は、大きな声で「はい、そうです。大きな声で「はい、そうです。と応えるところ、しばらく私を見ていましたが、はっと思い出してくださり、「おお、くにおか」と言われました。

先生とは本当に久し振りで、しかもこのような所でお逢いするのはまさに偶然でした。この日先生は、息子さんのご家族と一緒に花見に来られたようです。大曲の某病院のお医者さんという息子さんは、ちょうど花見の散歩中その時はお目に掛かれませんでした。先生と奥様とは色々お話をすることが出来ました。

石河先生は私の姉や兄たちとも関係があり、奥様が妹の担任をされていたことから、石河先生のご家族のことは私も良く知っていました。が、話しは弾



昭和17(1942)年7月、大曲小学校初等科5年竹組。担任の石河先生は、この撮影の後病気をし入院生活をおくられました。後ろは、楠 正成像

名で、この頃には誰も言わないものでした。私はいたずら心もありましたが、思わず手に持っていた水差しで、彼女の首筋から少し流し込みました。びっくりしたのか、彼女がしくしく泣き出したのです。それと同時に、一緒に隣の女の

んで私の妻の叔母(義父の妹)と石河先生の奥様は同級生だったことも分かりました。そして先生のご尊父は、母の生まれた平鹿郡川西村の学校で教師をしていたことなど、それやこれやの話で盛り上がりました。そのうち息子さんが帰ってきたので、数年後の還暦祝いの再会を約束してお別れしました。

本当に嫌だった渾名

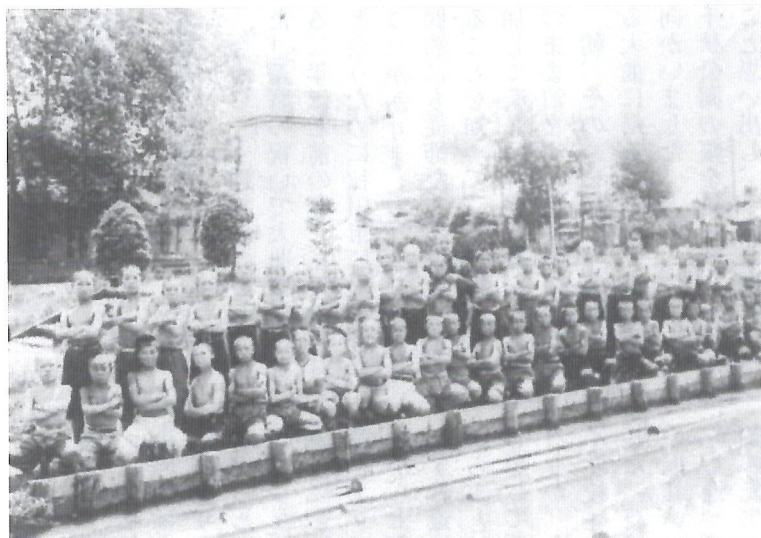
小学校5年の一学期のことでした。この頃私たちの学年は、男子が3クラス、女子が2クラスでした。(4年生から川の日

分校から転校生で少し増員。)

前年の十二月八日、大東亜戦争が始まってから、先生不在な事が多くなりました。そんなある日、女子のクラスの先生が不在で、そのクラスの女子生徒は他のクラスに分散されました。私たちのクラスにも、何人かの女子が来て、私の前にも二人並んで座りました。

それはちょうど習字の時間でした。何かのほずみで前の女の子の一人と言いついに前の子の時、彼女は私の一番気にしていた渾名を呼んだのです。それは1、2年生の頃付けられた渾名で、この頃

子までが泣き始めたのです。その時始業ベルが鳴り、ほどなく石河先生が教室に入って来ました。授業が始まっても泣き止みません。先生が理由を聞いて、泣かせた犯人は私であることが分かり、泣かせた訳を述べさせられました。私は理由を話しながら、私もしくしく泣き出しました。泣いたのは、女の子に悪いことをしたという思いだったのか、先生に殴られるのが恐ろしかったからなのか。泣いたことは、この年齢になった現在でも恥づかしい。結果、先生は私の氣



昭和19(1944)年8月、大曲小学校高等科1年竹組。戦争はいよいよ激しくなり。後ろの楠 正成像は献納されて、台座だけが取り残されている

ものもありました。私も「うまっこ」という渾名が本当に嫌でしたから、そのことを理解してくれて先生が同情してくださったのかも知れません。この頃、同僚だった奥様と結婚された直後でしたが、それから間もなく先生は病気で入院されました。先生は終戦後間もなく復職し各地の学校に奉職されました。その間、教頭、校長を暦年されて退職。その後教育長を勤められ、八十歳を過ぎてもお元気なもの。大曲市の老人会会長を務められ、また奥様も副会長として、ご夫婦で活躍されました。

持ちが分かってくれて、私の理由はもつともだと言うことを、クラスのみんなに話して納得させてくれました。

この時、おつかないことで知られた石河先生は、私を殴りませんでした。先生から特別に可愛がられていたとも思うが、私には何か後ろめたい

そして高齢となった昔の教え子たちを世話していたことも忘れ難い思い出です。

渡辺 正巳先生

高等科以来の再会

私が還暦一年程の前の出来事です。突然、小学校(当時は国民学校)高等科の時の担任だった渡辺正巳先生から電話を頂きました。それまで先生とは殆ど音信不通のご無沙汰でしたからびっくりしました。電話の要件はこうでした。

「今度、東京に行くことになったが、川崎まで行きたいので道案内を頼みたい」という内容でした。

その日は、中央線の三鷹駅だったか、京王線の府中駅だったかで落ち合い、川崎駅までご案内しました。先生は足を悪くされていて、その治療のために上京されたようでした。川崎の、先生が宿泊されるホテルの近くで軽食を摂りながら、色々積もる話をして楽しい時間を過ごしました。

来る還暦祝いの会会長のAさんとは、殆ど面識がなかったのに心配している様子でした。また私の義父佐々木準一郎は、安養寺同胞会の世話役などをしていましたが、渡辺先生も

同会の幹事をされていて、色々相談をする仲のようでした。私の実家も安養寺の同胞で、先生にはなにかとお世話になっていたようにでした。

その後は、還暦の会で再会を慶び会ったことは、言うまでもありません。それからと言うもの帰郷の際には、何度か先生のお宅にお邪魔して、学校時代の思い出を語り合う楽しい時間を過ごしました。

終戦前の出来事

昭和十九年、私は角館中学校の受験に失敗して大曲小学校高等科1年生になりました。第二次世界大戦の末期の頃です。勉強もそぞろに食糧増産の手伝いで毎日を過ごしていました。

こんな厳しい戦時下でありながら渡辺正巳先生は、国語の時間などには、森鷗外の「高瀬舟」など多くの文学作品を読んでもくださいました。読みながら、感極まって涙をつまらせることもしばしばでした。読んでくださった文学作品名は、今でははつきり覚えていませんが、私が文学作品が好きになったのは、先生のお蔭だと思います。

渡辺先生が講習等で学校に見えない時、クラスが何人かに分かれて、他のクラスで授業を受けたことがあります。私は、女先生の組に配属されまし

た。先生が帰られて元のクラスに戻ったある日、私たちは整列させられ、女の先生を苛めたという事で厳しく説教されました。そのあと竹の鞭で頭を叩かれました。その痛かったことはしばらくは忘れられませんでした。

昭和十九年〜二十年にかけての冬、武徳館で寒稽古を行っていました。私は渡辺先生に稽古をつけて頂いたとき、突然足掛けをされ、転んで面を取られました。私が余程気を馳めて稽古をしていたのでしよう。はつきり眼が覚めました。このように厳しいところのある渡辺先生でしたが、芯は気の優しい文学青年でした。なお、あの時の女先生は、後に渡辺先生のお嫁さんになった萩原キツ先生です。

昭和四十九（一九七四）年、大曲小学校は創立百周年を迎えました。その時の校長先生は、渡辺先生でした。平成十六（二〇〇四）年、先生のお宅の近くに住んでいる妹から連絡があり、先生が最近お亡くなりになったことを知りました。その前には奥様がお亡くなりになりお気の毒でした。

早いものでそれから二十年経った令和6（二〇二四）年、大曲小学校は創立百五十周年を迎えます。

首都圏大曲会

なかまの作品

おおまがり慕情

作詞 黒皮 羽生
作曲 平野 桂三
歌 菊池 幸枝

寒くないかい 丸子の橋で
肩を抱く手の あたたかさ
神の許さぬ 恋ゆえに
人目忍んだ

二人の運命（さだめ）
燃えて尽きない
ああ・あなた

今も胸（こころ）に
棲んでます

情け流しの 雄物の川に
解けて淡雪 はかなくて
風の吹きよに 揺れながら
死ぬも生きるも

貴方のままと
影を重ねて ああ・あなた
濡れて咲いてる 愛染めの

風の噂に 尋ねてみたが
呼べどかえらぬ 面影は
消えてはるかな

岳（やま）の上

雪の覆われた

日暮れの途（みち）に
想いさまよう
ああ・あなた

遠くネオンの おおまがり

黒皮羽生（くろかわ ばしゅう）は、首都圏大曲会幹事佐藤重光さんのペンネーム。佐藤さんは本業の鮭卸業を営む傍ら、作詞を趣味としています。カラオケにも入っていてファンも多数抱えています。「おおまがり慕情」は35号でも紹介しましたが、掲載の過程でミスがあり、黒皮さんには、本号で再掲載して心からお詫びいたします。

人生模様

作詞 黒皮 羽生
作曲 中島 昭二
歌 千葉とし子

親にもらった 人生ひとつ
なんで粗末に されようか
運否天賦（うんぷてんぷ）と
言うけれど

紅く咲いても 散る花は
めぐる季節に めぐる季節に
ああ……炎（ほむら）立ち

義理や人情の 人生灯り
数えあげたら キリがない
意地を張っては 突き放す
男心を 誰が知る
熱い情けに 熱い情けに
ああ……涙して

浮世舞台は 人生勝負
中途半端は 許されぬ
勝つも負けるも 時の運
なんで主役か わき役か
幕が引くまで 幕が引くまで
ああ……努めます

千葉とし子さんは大仙市四ツ屋地区出身の民謡歌手。ご主人は尺八二代目藤丸東風、ご子息は津軽三味線の畠山光洋という知る人ぞ知る民謡一家。同郷の黒皮さん作詞による「人生模様」に感動して、ご自分の持ち歌として歌っているものです。



大仙市首都圏ふるさと会

令和六年度 懇話会を開催

大仙市首都圏ふるさと会は旧市町村を単位に、八つの会で構成されています。六月十五日、老松市長をお迎えして各会代表による「令和六年度懇話会」が、東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷で開催されました。始めに老松市長から大仙市の現状報告があり、各代表からも時代に即応した多くの発言がありました。



大仙市首都圏ふるさと会の当番は、各会の回り持ちで担当する。平成6年度は首都圏大曲会が担当した。写真は各会出席者揃ったところで、開会の挨拶をする首都圏大曲会・大釜会長

最近の話題と市政のご報告 老松市長 映像で大仙市の今を語る



ご挨拶をする老松市長

新型コロナウイルスの感染流行は、これまでの社会活動にも大きな変動をもたらしました。感染防止のために、仲間が集まって行動をす

「ふるさとをリスベクト」し、「ふるさと貢献」です。そのためにも、老松市長による大仙市の現状ご報告は各会活動の源泉となり、きわめて意義のある活動を展開できるといえるのです。

大仙市首都圏ふるさと会は、各会それぞれ自主的に活動を展開していますが、その底流にあるものは「懐かしふるさと」であり、「ふるさとをリスベクト」し、「ふるさと貢献」です。

ることなどは一切出来ないという憂き目に逢いました。ましてふるさと会活動のように、会員が集まったの行動に意義があるところは尚更でした。会員や、活動の原動力となり活動を企画する幹事たちの高齢化現象は、各会とも深刻な悩みであり今後の課題となっております。ふるさと会に対する若者の関心を集めるには、また高齢者の関心など、時代に合わせたあるべきふるさと会の在り方の再検討が必要という問題提起がなさ



上は、議論を前にして昼食を摂る各会代表たち。右は、老松市長から映像を加えて市の現況を聞く

「ソラーレ」で行われたJ A全農W C B F少年野球教室で指導をする元ジャイアンツの中畑 清選手



野球の指導をするWBC監督 栗山英樹さん(7月)

懇話会の始めに老松市長からご挨拶と、大仙市最近の話題と市政報告がありました。

井聡太竜王が大仙市角間川町の旧本郷家住宅で、第36期竜王戦など、晴れやかで賑わしい話題が大仙市に集中していました。竜王戦は、大仙市に来る前に決着が付き、「藤井聡太竜王防衛を祝う会」に切り替えて12月5日、藤井聡太 竜王も喜んで参加し、老松市長をはじめ大仙市民の熱い歓迎を受けました。大仙市が誕生し、早いもので二十年が経ちます。そこで大仙市では、「二十周年メモリアルイヤー」と銘打ち、次の四つの

大仙市誕生『二十周年』

メモリアルイヤー

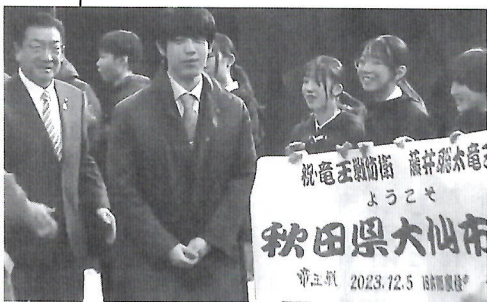
記念事業

四つの取組み柱に



能登半島地震の被災地に派遣された大仙市のトイレトレーラー。側面の「大曲の花火」の写真が馴染み深い

れました。大学生となり、職を得て私たちが首都圏に出た頃は、大曲から上野迄、急行でも十二〜三時間必要しました。それが新幹線「こまち」が通ると僅か三時間ちよつと。高速道路は完備し、大曲と首都圏は手を伸ばせば届くような感じですが、それに加えて情報機関の目覚ましい発達です。私たちは最早、「ふるさととは遠きにおいて思うもの」と詠んだ室生犀星の時代とは違うふるさとの感覚で、ふるさとへの活動を考え、行動しなければならぬ時代を迎えています。



「竜王防衛を祝う会」に出席した藤井聡太竜王と老松市長。ようこそ、歓迎の横断幕も見える

取組を柱に、令和六年度から七年度にかけて、市民が長く印象に残り得る事業を展開していきます。

- ①機運醸成(ロゴマークの募集、特別展の開催など)
 - ②記念式典(令和七年三月二十二日、功績者等表彰・記念講演)
 - ③関連事業(冠事業・協賛事業・特別講演の開催など)
 - ④アフターイベント(世界少年野球大会の開催など)
- 他に老松市長から、映像を使って大仙市の最近の話題と市の情勢をお話し頂きましたので、項目を掲載します。
- ふれあいスポーツランド「ソラーレ」のオープン
 - 「ソラーレ」のオープニングのゲストに、WBC侍ジャパンの栗山監督、新監督の井端監督が来訪して野球指導
 - J A全農W C B F野球教室大仙教室で、元巨人の中畑選手が指導
 - 三つの民謡全国大会、四年ぶりの復活開催
 - 第32回秋田おぼこ節大会
 - 第25回秋田おほら節大会
 - 第13回秋田館売り節大会
 - 物渡台地区の防災集団移転事業の実施
 - 「事前防災」事業の推進↓集団移転先 刈和野 地区
 - 市民のための「大仙市アカデミー」の開催
 - 大曲企業団地第2期造成工事の開始

(24ページに続く)

渋沢史料館 日本の近代社会の創造者、渋沢栄一の活動を紹介する博物館



東京の公園を

ぶら~い訪ねて

四季折々が美しい

旅人 小川 康 ogawa yasushi

飛鳥山公園 (東京・北区) を訪ねる!

新一万円札の渋沢栄一「渋沢資料館」など三つの博物館



写真上、飛鳥山公園を訪れる大人も子どもにも大人気の飛鳥山公園モノレール、「あすかパークレール」

写真左、「パークレール」は飛鳥山の緑に沿ってゆっくりゆっくり上って行く

写真下、「パークレール」の山頂駅。都会の山らしく山頂から見るビルはもっと高い

東京・北区王子にある飛鳥山公園は江戸時代から桜の名所として知られます。明治六年、国指定の初の公園です。それ以降現在に続いて春夏秋冬、四季折々の風景を奏でる由緒ある公園として人気を集めています。

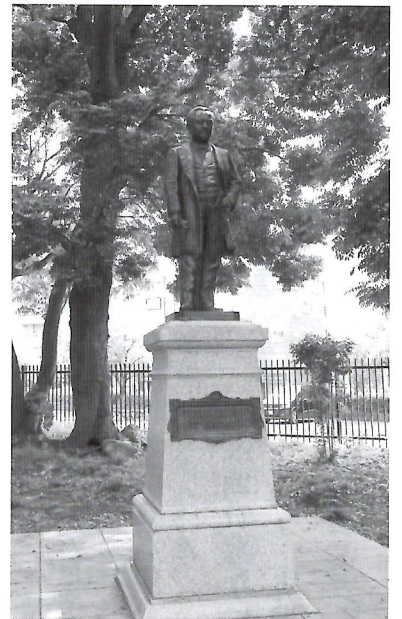
夏は、噴水で水遊びをする子どもたちの賑わい、音無親水公園や名主の滝も近く、秋は、よく整備された石神井川沿いの遊歩道散策など紅葉狩りも楽しむことが出来ます。

それとともに今では、「飛鳥山三つの博物館」も有名で、博物館のある公園としても人気を集めています。中でも今年七月三日から使われている新一万円札の肖像となった、日本近代経済の父・渋沢栄一の住まいだった建物を利用した「渋沢資料館」が、人気です。残る二つの博物館は、東京都北区の歴史や文化などを分かり良く紹介展示し、かつイベントなどを催して、北区の事ならば何でも分かる「北区飛鳥山博物館」。紙は文化を形成すると、渋沢栄一が主導して設立した王子製紙工場跡につくられた洋紙の歴史を伝える「紙の博物館」です。





緑の木陰に囲まれた芝生が訪れる人々の気分を癒してくれる



山頂に立つ渋沢翁の銅像が山下の雑踏を静かに見下ろしている



渋沢栄一翁がかつて住んでいた旧渋沢庭園の住居。
今は「渋沢史料館」として公開されている



緑豊かな飛鳥山公園の散歩道。
楽しそうに歩く親子連れに、
樹間を抜けた風が心地良い



飛鳥山公園案内図(渋沢翁のテーマパークとある)



飛鳥山公園の近くに独立印刷法人国立印刷局がある。
1万円札など日本銀行券を始め官報、旅券、郵便切手、その他公共性の高い印刷物を印刷している

飛鳥山は、今では都会の中の公園ですが、地勢的には武蔵野台地の北端にあります。台地上を東西に横切って流れる石神井川は深い谷を作り、飛鳥山下で東京低地に流下しています。昭和12年の遺跡発見以来、飛鳥山3つの博物館建設のための発掘調査では、石器時代の石器、縄文・弥生時代の集落や土器、古墳時代の円墳など、多くの遺構や遺物が発見されています。飛鳥山への交通は、JR京浜東北線「王子駅」からすぐ。都電荒川線「飛鳥山」や「王子駅前」からもすぐ。東京メトロ南北線「王子駅」から徒歩3分です。

郷愁の秋田弁

ふるさとの温もり



大釜会長

「よく来てくださったなあ。オメ
まめだったか」

それぞれの生活も落ち着き、一
区切り着いた年代からずーっと
続けている小学校の同級会。昨
年の秋、少し遅れて会場に着い
た私を、にこやかに迎えてくれ
た同級生達の優しい秋田弁に、
忘れかけていた小学生の頃の雰
囲気一気に引き込まれた。そ
れは70年余の時空を越えて、懐
かしくはるかな「我がふるさと」
を感じたものだ。

会長アピール

言葉には姿がある。まして
生まれて育った土地の
言葉は忘れようとして
も、自分の体の血液や
筋肉と同様に、この身
から切っても切り離せ
ないものであろう。
誰もが苦しい思いがあ
るに違いない。私が生
まれ育った仙北郡四ツ

大釜 茂 璋

屋村。後に大曲市に併合された
が、進学した秋田市の高校で友
だちに、大釜は言葉に訛りがあ
ると笑われたことがある。たつ
た50キロ程しか離れていない土
地間でも、言葉のニュアンスに
違いがあることをその時気付い
た。秋田市で下宿したお宅には、
東京育ちの娘がいて綺麗な標準
語を使っていた。「お父さまあ」
などと父親を呼ぶ声が聞こえて
も、東京の子ぐらいに思っただ
ら違和感はなかった。

やがて大学受験で上京するの
だが、汽車で宇都宮あたりに差
し掛かると、東京に闇米や野菜
などを売りに行くのだろう大勢
のかつぎ屋の女性が賑やかに乗
り込んでくる。甲高い声で、活
き活きと何か話し合っている
が、その意味は良く分からない。
東京に近い土地の言葉であり、
私はそれが標準語であり、これ
から使わなければならぬ東京
弁だと思ひこんだ。勘違いにも
程があった。

言葉の訛りには

土地の味がある

同級会ではいつものように友

だち同士の話しが弾んだ。

私は全校生徒二百数名の小さ
な学校だったがクラスの人数は
四十名余。同級会への参加は年
齢相応に、腰が痛い、脚が痛い
との理由で十名前後となった。
男性が二・三名でほとんどが女
性だ。それだけに弾む会話は、
クラス全員が参加したと勘違い
されるほど豊富で賑やかだ。

話しの中には、今ではすつか
り忘れかけていた単語や言葉使
いもあって、それは生活習慣と
強いつながりあることを感じて
面白かった。

南瓜は「どぶら」、今が季節
の大根は「でこ」、牛は「べこ」、
とんぼは「だんぶり」などと、
賑やかな会話の中で、懐かしい
秋田弁が飛び交った。その会話
を聴く中で私は、ゆったりとし
た時の流れを感じ、幼な馴染み
と接する安堵感や、この地で生
まれ育った自分を思った。

首都圏大曲会は、「ふるさと
貢献」を信条の一つに置いてい
る。「ふるさと貢献」とは、ふ
るさと思ひ懐かしみ、ふるさ
との人々と喜怒哀楽を共にしよ
うとする心や行為を意味する。
今、自分は同級会に参加して、
「ふるさと貢献」の真っ最中だ。
ふるさとの明るい話題にはふる
さとの人々と一緒に喜び、辛い
事は一緒に嘆き悲しむ人であり
たい。
(首都圏大曲会会長)

(21ページから)

○若者の定着に向けた地元企業
の振興

地元企業の設備投資を積極的
に支援 令和5年投資実績…
14社 約26億円、令和6年投
資計画19億円

○好天に恵まれた「大曲の花火」
大盛況

令和六年七月、モントリオー
ル国際花火大会へ出場

○待望の「新四ツ屋公民館」の
オープン

○鈴木優花さん オリンピック
出場内定

競技スポーツの振興による地
域の元気づくり

○生誕一五〇年記念鈴木空如筆
法隆寺金堂壁画展

文化財の保存と活用による観
光振興やまちづくりの推進

○「第三六期竜王戦 藤井聡太
竜王 防衛を祝う会」の開催

○能登半島地震の被災地に対す
る支援

災害に強いまちづくりの積極
的な推進 (トイレトレーラー

の派遣、家屋被害調査派遣、
応急給水隊、吸水車派遣等)

○秋田新幹線新仙岩トンネルの
整備促進 (田沢湖駅⇄赤沢駅
約15kmのトンネル

○「出会い」の機会創出に関す
る連携協定

○市内小学校 創立一五〇周年
(明治7年開校)

学校・PTA・地域が一体と
なって記念事業を実施予定

◆令和6年度に記念事業を実施

- 大曲小学校 10月22日
- 東大曲小学校 12月11日
- 花館小学校 11月22日
- 内小友小学校 11月16日
- 四ツ屋小学校 10月13日
- 清水小学校 9月13日
- 太田東小学校 11月28日
- 太田南小学校 10月26日
- ◆令和7年度に記念事業実施
- 角間川小学校
- 高梨小学校
- 藤木小学校

(令和七年に一五〇周年)

地域コミュニティ活動の拠点として
注目される「新四ツ屋公民館」

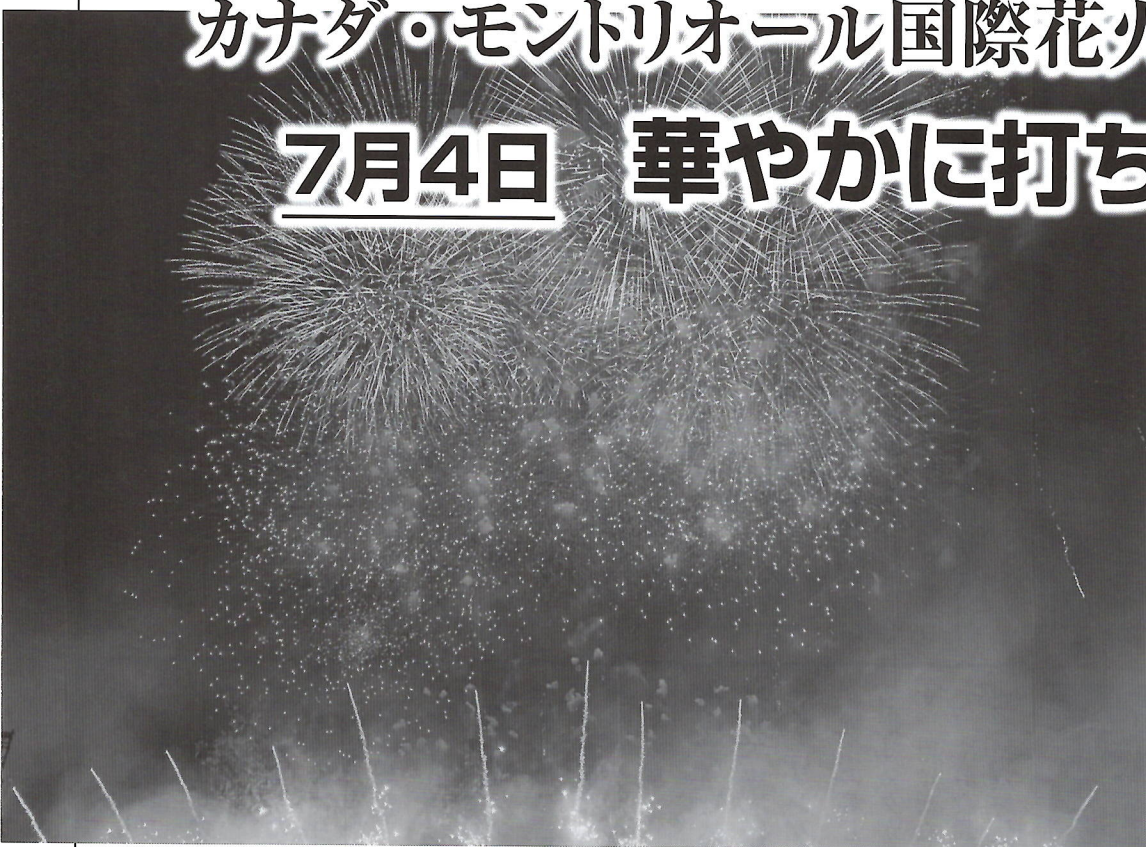


四ツ屋公民館竣工式

世界の花火・日本の花火 大曲の花火

カナダ・モンリオール国際花火大会で

7月4日 華やかに打ち上げる!



大仙市大曲は「花火のまち」。毎年八月最終土曜日に開催する全国花火競技大会は今年で九十六回を数えます。今では大仙市のどこかで、毎月花火が上がるイベントのあるまちとして国際的にも知られます。この7月4日は、世界的な花火競技大会として有名な、カナダ・モンリオールで開催される「モンリオール国際花火大会」に参加。場内を埋めた大観客に「日本の花火」の喜びと感動を与えました。

音楽に合わせて間断なく打ちあがる日本の花火は、カナダ・モンリオールの夜空を色鮮やかに染めた



この花火大会はサマーフェスティバルとして行われ、6月から8月にかけて週1〜2回行われます。日本は今年のトップを切り7月4日に行われ、日本の緻密で色鮮やかな花火技術が、



上は、国際色豊かに打上げ準備。花火を打ち上げるサンテレーヌ島を対面に、埋め尽くした満員の観客



高く評価されました。音楽と共に打ち上げられる花火は、「大曲の花火」とよく似ています。今年は、日を変えて日本の次にイタリア、オーストリア、メキシコと続きました。

大曲中学校修学旅行生と一緒に

首都圏大曲会 協力

秋田県民歌と校歌を歌う会

大仙市立大曲中学校3年生の東京方面への修学旅行団が、今年もやって来ます。修学旅行は、中学校時代の忘れ得ぬ思い出として強く印象に残ります。

特に大曲中学校の修学旅行団は、上野・池之端の恩賜公園野外ステージで「校歌と秋田県民歌」をうたい、若い日の思い出を一層強いものにしていきます。首都圏大曲会はこの会に協力しています。

秀麗無比なる 鳥海山よ
狂らん吼え立つ 男鹿半島よ

上野・池之端にある野外ステージで、修学旅行の中学生た

街の話題

「だいせん日和」より

SDGs「誰一人として取り残さない」持続可能な社会の実現に向けた世界共通の目標。

「今」も「未来」も幸せに暮らし続けるためには、今を生き暮らす私たちは何ができるのか。そ

ちと声を合わせて歌う爽快感、大曲中学校校歌を知らない人は、県民歌だけでも感動し、涙ぐみ胸がつまります。みんなと一緒に参加し、歌いましょう。

日時 9月3日(火)
午後1時(予定)

場所 上野・池之端の恩賜公園 園野外ステージ

アクセス JR・地下鉄「上野駅」池之端沿い湯島方

目印 首都圏大曲会旗を目印にお越し下さい。

問合せ 03(3341)6339 (首都圏大曲会事務局)

れには一人ひとりが、自分のこととして考え、身近なことから行動が大切です。

大仙市SDGs レポーター

SDGsの達成に向けた新たな取組みとして、未来を担う若い世代を対象に、「SDGsレポーター」の活動がスタートしました。

この取組みは、未来のため積

極的に活動しようとする中学生のなかから、「SDGsレポーター」を任命し、調査・学習などを通じて、SDGsへの理解を深めていただきます。中学生の目から、学んだ成果を広く市民の皆さんへと発信していただくものです。

レポーター活動を通じて、SDGsの達成に向けた市全体の機運を高めるとともに、地域の課題解決や活性化に向けて、物事を主体的に考え、行動することができる人材育成につなげていきます。

市民を守る新たな熱中症対策「指定暑熱避難施設 (クーリングシェルター)」

近年の著しい猛暑により、熱中症リスクが年々高まっています。市は新たな熱中症対策として、冷房設備のある施設を「大仙市指定暑熱避難施設(クーリ

ングシェルター」として指定し、猛暑をしのぐための施設として開放します。

クーリングシェルター指定施設には、目印として左のような涼し気な標示証を掲示しています。

◆対象施設(一例)

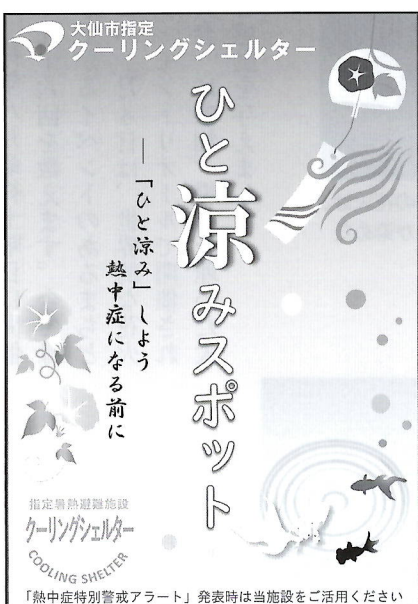
- 公共施設 市役所大曲庁舎、各支所、大曲中央公民館、大曲図書館など
- 民間施設 イーストモール、グランマート中通店・同白金店、同飯田店、イオンモール大曲

◆利用について

- クーリングシェルターは、次のように利用できます。
- 施設内への自由な出入り
- 熱中症予防を目的とした飲食
- 椅子やソファなどの休憩スペースの利用
- 熱中症特別警報情報(アラート)発表時に限ります。アラートの発表は、市公式LINEや防災ネットなどでお知らせします。

ひと涼みスポット

「ひと涼み」しよう
熱中症になる前に



指定暑熱避難施設
クーリングシェルター
COOLING SHELTER
「熱中症特別警戒アラート」発表時は当施設をご活用ください

編集後記

▼今年の梅雨の入りは例年よりも遅く、空梅雨かと心配させた。梅雨の頃は、降っても降らなくても空模様が気になる。我が家は農家では無かったが、秋田の米どころで生まれ育った習性は、何処に住んでも、この年齢になっても、身体に染み込んで離れない。テレビの天気予報も、今住んでいる東京に次いで気になるのは秋田の天気だから、この習性はどうしようもない。▼子どもの頃、梅雨の雨は「しとしと」と、穏やかに表現したものだが、最近の雨は線状降水帯やゲリラ豪雨など、可愛げのない聞きなれない言葉からは、大水害や地崩れなど、災害を伴うイメージが強く、幼い頃味わったしつとりした雨の風情はまるでない。大雨で、大曲・秋田駅間で「こまち」がストップとテレビで聞くと、泥水に浸る田んぼのイメージが浮かび、心配が募る。▼ふるさとを偲ぶと言ふことは、子どもの頃の思い出に今の自分を重ね合わせるということだ。ふるさとで過ごした若い時代があるから、今の自分が存在する。誌上座談会「思い出すあの頃」は、幹事たちの幼年時代を、それぞれの思いを込めて語ってくれた。その思い出に、自分の「あの頃」を重ね合わせて、自分を偲ぶ人も多いようだ。思い出の中に希望に満ちたあの頃の自分がある。寺島資郎、小西國男両氏の寄稿にも味があつた。▼好評の市役所訪問は、「若者チャレンジ推進室」を訪ねた。今年度から「こども未来部」の新設など、若者を対象にした大仙市の政策は、首都圏ふるさと会懇話会でも、老松市長が熱く語り、触れられていて頼もしかった。(大釜)

パンフレット・ポスター・
冊子印刷&製本など

印刷のことなら 何でも ご相談下さい。

原材料の仕入・固定コスト等、
秋田の立地を最大限に生かし
低価格・高品質の商品を
お客様にご提供すべく、
日々精進を致しております。

首都圏のお客様にも秋田協同印刷のモットーとする
『すべてはお客様のために』を『すべてのお客様のために』!
是非お感じ下さい!
ご連絡を頂ければ飛んで参りますので、
お気軽にお問合せを宜しくお願い申し上げます。

秋田協同印刷株式会社 首都圏担当

〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋1丁目39-7
ライオンズステーションプラザ三軒茶屋604

TEL.050-5820-4764
FAX.03-6320-8339

憩い

安らぎ

癒しの宿

秋田・十和田湖・八幡平国立公園

ここ乳頭温泉郷は、七湯の、素晴らしい良質の宿が点在しています。中でも妙乃湯は、関西から見た東の「金泉・銀泉」の二源泉を併せ持った誇れる宿です。また、こじんまりした秘湯の素朴さ、古きに新しさのバランスを備えた趣のある宿として大変喜ばれています。

014-1201 秋田県仙北市田沢湖生保内字駒ヶ岳 2 - 1
電話0187 - 46 - 2740



乳頭温泉郷 金の湯 銀の湯

妙乃湯温泉

「ふるさと大曲」第三十六号

令和六年(二〇二四年)八月三日

田沢湖温泉
都わすれ

秋田・田沢湖・抱返り溪谷 県立自然公園

田沢湖と角館の中ほど。紺碧の湖や溪流を見ながら緑に染まる木立の道を進みます。広い敷地と周囲の山々に包まれた「都わすれ」は、客室わずか10室。全室抱返り溪谷を見ながらのかけ流し露天風呂付きという、人里離れた理想の、くつろぎの宿です。

014-1113 秋田県仙北市田沢湖卒田字夏瀬84
電話0187-44-2220



首都圏大曲会発行